

# 総合建築科

義務教育修了者以上 / 2年課程 定員15人 ※技能連携生対象科



日本の環境にあった建築物を創り出す優れた技能者（建築大工）を育成します。  
大工道具の刃物の研ぎ方やノコギリ・カンナ・ノミ等の使い方から始め、在来軸組工法の木造建築を中心に基礎工事から木造の墨付け・加工・組立などの技術を学び、住宅を建てる技術を習得します。

1年生では各自で課題に取り組み基本技能を高め、2年生では原寸大の建築物をグループによる共同作業で造ります。



## 取得可能資格

- 2級技能士「建築大工」
- 3級技能士「建築大工」
- ガス溶接技能講習修了証
- アーク溶接特別教育修了証
- 研削と石特別教育修了証
- 小型建設機械運転特別教育修了証
- 丸のこ等取扱作業従事者安全衛生教育（18歳以上）
- 技能士補（技能照査合格者）
- 福祉住環境コーディネーター（2級）
- 2級建築士（高卒者は修了後2年の実務経験で受験資格）



平成26年度修了生  
**井上 裕哉 さん**  
居石建設

大工の技術を身に付けたいと思い、専門校で2年間クラスメイトと一緒に楽しく頑張ってきました。指導員の先生方や技能講習の講師の方の指導もあり、数多くの資格を取得することが

できました。一建設株式会社で大工として入社し、勤務地福岡において2年間で約20棟の住宅を在来工法で建ててきました。平成29年4月からは、その時の同期で会社を立ち上げ、会社を軌道に乗せるべく今は楽しく頑張っています。今後は新築工事だけではなく、住宅の改修・増築・リノベーションなど幅広いニーズに対応できる技術を身に付けることが目標です。

**VOICE**  
(修了生)

## 進路

- 木造住宅を専門とする工務店
- 建築設計事務所
- 寺社建築を専門とする工務店
- 建設工事関連企業（建具、型枠、建築板金など）

## 総合建築科の魅力と特色

- 3級技能士と2級技能士の**2つの国家資格**が取得可能。
- 実践的な実習で、知識として知ることから、造り上げるまでの本物の実力が身に付きます。
- 建築設計に必要なドラフターやCADによる建築図面が描けるようになります。
- 多くの企業から求人があり、就職希望者の**就職率は100%**。
- 就職先は建設業で**建築大工、宮大工、型枠大工、建築士**として活躍できます。
- 将来自分の家や家族の家はもちろん、**後世に残る建築物**を自分の腕で建てる事ができます。
- 中学校のみ卒業の方には技能連携制度により高校卒業の資格が取りやすくなります。

## 技能連携制度

最終学歴が中学校卒業の人で総合建築科と熊本県立湧心館高等学校（熊本市中央区出水4丁目：通学区域は熊本県全域）定時制の両方を受験し、両方に合格すれば1～2年次は本校（昼間）で専門科目を学習し、3～4年次は湧心館高等学校で普通科目を学習することで高校卒業の資格を取得するものです。

※1、2年次においても月に3回程度は湧心館高等学校に通います。

## カリキュラム内容

### 1年次 個別作業を中心とした授業 (実技)

- 4月 大工道具の取扱い方  
(ノコギリ、カンナ、ノミなど)
- 6月 1年実習課題開始  
(寄棟・切妻屋根、躯体工事)  
(内部造作、鴨居、敷居、廻縁等)
- 12月 ガス溶接技能講習  
アーク溶接特別教育
- 2月 3級技能士国家試験
- 3月 応用実習



木材削り



木材の加工

### 2年次 グループ作業を中心とした授業 (実技)

- 4月 丸のこ安全衛生教育  
研削と石特別教育
- 5月 2年実習課題開始（11月頃まで）
- 7月 福祉住環境コーディネーター試験
- 10月 小型建設機械運転講習
- 12月 企業派遣実習（3週間程度）
- 2月 技能照査試験（校内試験）  
2級技能士国家試験  
(技能五輪熊本県予選への参加も可能)
- 3月 応用実習



ノミの手入れ



1年実習課題



2年実習課題（東屋）



2年実習課題（2階建住宅）

修了(就職)